



# 王禪寺中央中学校便り

川崎市立王禪寺中央中学校

044-987-0066

令和6年10月29日発行

## 活動の秋

校長 高橋 泉

10月はまさにスポーツの秋、芸術の秋となりました。19日の文化祭舞台発表の部では、文化部、委員会や教科の発表を熱心に鑑賞する生徒たちの姿がみられました。翌週には全市一斉に「連合文化祭」が行われ、本校からは92名が10部門に参加をし、日頃の取組みの成果を他校の生徒と学び合う機会となりました。最後は25日の「川崎市中学校駅伝大会」。駅伝部は自ら参加を希望した生徒の集まりです。約1ヶ月半の練習期間、毎日走り込みを続け本番を迎えました。当日、選手は自らの力を発揮すべく襷に気持ちを込め力走。一人一人が渾身の頑張りを見せてくれました。大会が終了し、各自やり切ったという思いがあったと思います。このように各行事や大会で頑張る生徒を多く目にする期間でした。生徒にとっては忙しくも充実していたことと思います。そしてさまざまな活動が3年生から2年生にバトンタッチされていくこととなります。学校あげての取組や大きな行事は11月の文化祭展示の部でひとまず一段落となり、これからは、学習に、委員会活動や学級・学年の活動等に落ち着いて取り組む時期となります。一旦大きく深呼吸し、気持ちも新たにこれからの学校生活を送ってほしいと思います。

さて、前期終業式では「2つの勇気」について次のような話をしました。

【勇気というのは、人間にとってとても大事な力で、この勇気という力を持たないと、何かに挑戦することができません。勇気があってこそ、人間はたくさんの困難に立ち向かい、克服し、成長をしてきました。私もとても大切にしている、人間の力です。でも、勇気には「する勇気」と「しない勇気」の2通りあります。「する勇気」。それは、困難なことに直面しても、負けないで立ち向かうための「勇気」です。もう一つの勇気は「しない勇気」。実はこの勇気がとても大切です。例えば、みなさんの周りに友達をからかったり、いじめたりしている人がいたとします。その時に、「おまえもやれよ」といわれたり、やるような雰囲気になったりします。自分がやらないのは勇気がないからと思われそうで、仲間に加わってしまう…。こんな時「絶対にしない」というのが本当の勇気です。人に悪いことを誘われても、心ひかれるようなことがあっても、私たちは「しない勇気」を持たなくてはなりません。とても大切な勇気です。】

改めて、「する勇気」と「しない勇気」。心に留めて生活を送ってくれたら嬉しいです。



ウェルカムボード “秋” (制作：芸術部)

# 第17回文化祭 合唱コンクールの部 開催!

## 三原色～個々の～色を生かし、新たな色を生み出そう～

10月10日(木)、第17回合唱コンクールが行われました。全校生徒が一堂に会して一体感のある素晴らしいコンクールになりました。1年生は初めてのステージに緊張しながらも、元気いっぱいな雰囲気が伝わってきました。2年生は2回目の合唱コンクールということで成長が感じられ、落ち着いた歌声で歌いながらも各パートのハーモニーなどが考えられた合唱が特徴的でした。3年生はさすがが最高学年。強弱やハーモニーだけでなく、曲に込められた思いまで感じ取り、聴いていると情景が思い浮かぶような素晴らしい合唱で、会場の観客の心に響くものでした。コンクールということで順位はついてしまいますが、それ以上に多くのことを学んだ合唱コンクールになったと思います。



約1ヶ月という短い期間でしたが、学級で気持ちを一つにして目標に向かって努力し続けた経験を今後の学校生活でも生かしていきましょう。



### ☆各学年結果発表☆ (カッコ内は各クラスの自由曲です。)

- 【3学年】最優秀賞 2組 「ヒカリ」
- 【2学年】最優秀賞 2組 「あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～」
- 【1学年】最優秀賞 3組 「地球星歌 ～笑顔のために～」

## 活動の記録 ～王中中生 活躍中!

### 【川崎市総合体育大会】

#### 陸上競技部

- 共通男子砲丸投 7位
- 1年男子100M 7位
- 2年女子100M 6位
- 共通女子4×400Mリレー 8位
- ( )

- バレーボール部 女子 3位
- バドミントン部 女子団体 5位

### 【川崎市総合体育大会】

- 卓球部 女子団体 5位

### 【日本管楽合奏コンテスト予選審査会中学校A部門】

- 吹奏楽部 優秀賞

### 【川崎市理科作品展】

- 銅賞 2年 「結晶成長時間の基礎的研究」
- 佳作 2年

「ポリ袋ホバークラフトの滑空の基礎的研究 Part II」

敬称略

## お知らせ

### ●11月の主な予定

- 5日(月) 朝会 物品販売
- ～6日(水) 3年進路面談
- 12日(火) 3年後期中間テスト(美術・保体・理科)
- 13日(水) 3年後期中間テスト(技家・英語・社会)
- 14日(木) 3年後期中間テスト(音楽・数学・国語)
- 15日(金) 3年租税教室
- 18日(月) 各種委員会
- 20日(水) 生徒評議会
- 21日(木) 文化祭展示見学
- 22日(金) Kawasaki Youth Meeting(拉致問題講演会)
- 25日(月) 学校公開日
- 28日(水) ～3年進路面談
- ～1・2年生テスト前残留活動禁止

### ●文化祭展示発表の部について

文化祭展示発表の保護者見学は、11月20日、21日、25日、26日となります。詳細は後日お知らせいたします。

### ●最終下校のお知らせ

- 11月 1日より17時 最終下校
- 11月 18日より16時45分 最終下校

### ●相談室へのご相談について

\*開設日(毎週火曜日 9:00～17:00)

☎直通電話：044-987-1401

\*予約は直通電話、教職員への申し出、相談室前ポストに予約票を投函等をお願いします。

### 【11月開設日】

- 11月5日(火)・12日(火)・19日(火)・26日(火)

# 後期の生活に向けて

各学年の代表生徒が、前期の生活を振り返るとともに、後期に向けての意気込みを後期始業式で発表しました。

## 【1年】

私が前期に頑張ったことは2つあります。

1つ目は部活動です。中学生になり私はバスケ部に入ることを決めました。初めは、やっていけるか不安でしたが、先輩方が声を掛けてくれたり、的確なアドバイスをしてくれたり、成功した時に一緒に喜んでくれたりしたことが自分のモチベーションにも繋がりました。だから、部活で行った練習の成果を試合で発揮することができ、喜びも悔しさも味わうことができています。

2つ目は体育祭です。応援団では同じブロックの先輩にいろいろ教わりながらブロックを盛り上げられるように全力で声を出すことができました。また、学年種目ではクラスで作戦を立てて当日も達成することができ、より団結力が高まりました。

1学年は、明るくて行動力のある学年です。前期に行った校外学習では、ルールやマナーをしっかり守り、班のメンバーと協力する大切さを学びました。後期では学年目標である「パズル～個性輝く116人のピースをつなげよう～」を達成するためお互いを支え合い、認め合うような学年にしていきたいです。また、2月には自然教室があります。楽しむためには、時間とルール、マナーを守り、自分で考え行動することが成長に繋がると考えます。1年生の終わりには、私達が掲げている学年目標を達成して、2年生に進級したいです。

## 【2年】

私の後期の抱負は、周りから信頼される存在になり、3年生の皆さんが、1、2年生を引っ張ってきてくれた姿を引き継いでいくことです。3年生は、委員会や部活動、体育祭や合唱コンクールなどで中心となり、1、2年生を引っ張ってきてくれました。3年生の皆さんは、切り替えが早く、1つ1つの物事に対して一生懸命なところがよく伝わってきます。体育祭や合唱コンクールを振り返ると、練習はクラスで団結して真剣に取り組み、本番は全力で楽しんでいたように感じました。

それに比べて2年生は、時間にルーズでクラス全員が練習から全力で取り組んでいたとは自信をもって言えません。予鈴遅刻をする人が多かったり、チャイムが鳴る前に着席できなかったりという点はどのクラスにも共通することで、普段の行動によってどれだけ良い行事になるのかが変わってきます。また、物事に対してみんなが全力で取り組むというのは、とてもやる気がある人がいたとしても、一人二人がやる気がなかったら、クラスで良いものは仕上がりにません。

2年生の課題は、「時間を気にすること」と、「団結し合う力を身につけること」です。この2つの課題を改善していくことで、「スイミー 団結して大きくなれ」という学年目標を達成できると思います。後期はだんだん2年生が学校の中心になっていくので、一人ひとりが責任を持った行動をし、周りから信頼される学年になれるようにしていきたいです。

## 【3年】

私たち3年生は、残り5か月で、中学校生活を終えようとしています。私たちは、前期の半年間で多くの経験を積み、成長できたと感じています。また、それぞれのクラスや学年としても団結でき、絆が深まりました。

後期では、それぞれの目標に向かう大事な時期に直面します。精神的にも身体的にもつらいと感じる場面も多く経験すると思いますが、自分に打ち勝って持っている力を発揮できるよう頑張っていきたいと思っています。

また、卒業時に3学年の学年目標である「青春～光り輝く最高到達点～」を、「青春」「光り輝く」「最高到達点」の3つの観点で達成できるように、楽しむところは楽しみ、やるべきことはやるといったメリハリをつけていきたいです。そして、最後まで1、2年生の手本となるような行動をとり、しっかりバトンパスできるようにして、ベストの状態卒業を迎えられるようにしていきたいです。